

令和8年度麦類情報 第3号

令和8年8月5日 発行

福島県会津農林事務所喜多方農業普及所

ポイント○排水対策○土作り○播種と施肥○除草対策

1 排水対策

- 小麦は湿害に弱く、**播種時に土壤水分が高いと出芽不良になるため額縁明きょを必ず施行**しましょう。さらに、ほ場内に停滞水がないよう速やかに**排水口へ水が流れるよう**にしましょう。



図1 排水口への水路

2 土作り

- 小麦の最適 pH は 6～7、大麦は pH 7～7.8 です。酸性土壌では**黄枯れ症状となり減収の原因**となるため、**苦土石灰で調整**しましょう。また、堆肥の施用は**地力を高め、収量・品質向上**につながります。

表1 堆肥等の施肥量

堆肥	1～1.5t/10a
苦土石灰	80～100 kg/10a

3 種子消毒

- 病害防除のため、薬剤による**種子消毒を実施**しましょう。

表2 種子消毒の主な薬剤の例

薬剤	時期	品種	使用量	対象病害虫
ベンレートT水和剤 20	播種前	小麦、小麦を除く麦類	乾燥種子重量の 0.5% を種子粉衣する。	裸黒穂病、なまぐさ黒穂病
ホームイ水和剤	播種前	小麦、小麦を除く麦類	種子重量の 0.5～1.0% を種子粉衣する。	斑葉病、なまぐさ黒穂病

4 播種

- 麦類の**播種適期**は、**9月下旬～10月上旬**です。
- 播種時期が遅れると**出芽率が低下**するため、播種適期から**1週間遅れた場合は、播種量を2割増し**で播種しましょう。また、**散播の場合も播種量を2割増し**で播種しましょう。

表3 麦類の播種量について

播種方法	播種量（標準）
条播	10 kg/10a
散播	12 kg/10a

5 施肥

- 麦類は、越冬率を高める上での**越冬前の生育量確保が重要**であり、施肥が大きく影響する。そのため、**施肥基準に沿った施肥量を施肥**しましょう。

表4 基肥の施肥量等について

	施肥量 (kg/10a)	主な肥料の例
麦類	10-10-10 (N-P-K)	ほほえむ 444 (14-14-14) 施肥量 71.4 kg/10a

6 除草対策

- 収量と収穫作業能率の低下につながるため、適期に除草剤散布を実施しましょう。

表5 薬剤等について

薬剤	適用雑草名	使用時期	使用量
ゴーゴーサン細粒剤 F	一年生雑草	麦類播種後出芽前（雑草発生前）	5～6 kg/10a
ハーモニー細粒剤 F	一年生雑草	小麦、大麦播種後～麦3葉期（雑草発生前～発生始期）	4～5 kg/10a
リベレーターフロアブル	一年生雑草	小麦、大麦（秋播栽培）播種後～麦3葉期（雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで）	60～80ml/10a

【留意事項】

- 土壌処理剤は土の表面に薬剤の層を形成し、**これから出てくる雑草を抑えるもの**です。そのため、**ほ場に残っている雑草は耕耘等で対処**して、播種直前は**雑草等がない状態（図2）**にしましょう。
- また、碎土率が低いと**種子の吸水にムラがでて発芽が揃わない原因**になります。碎土率を高めるために**丁寧な耕耘**を実施しましょう。



図2 播種直前のは場の様子

7月1日～9月30日は熱中症等対策期間です。
こまめな休憩と水分・塩分補給を行いましょう。

○本情報の内容や麦類に関するお問い合わせはこちらへ。
会津農林事務所喜多方農業普及所 TEL: 0241-24-5743